

よえもん

2016年9月

第41号

今月のことば

シリーズ
よえもん

くるまが田におちた

(低学年用絵話)

藤樹先生がある日、用事があって

とけり村へ行った時のお話です。

①ひとりの馬方が荷車にたくさんの米俵を積んで細いたんぼ道を通っていました。

②ところが荷車の片車輪が田の中に落ちてしまい、いくらあせっても馬の力では荷車を道に引き上げることができません。

③その時です。ちめど藤樹先生が通りかかり、すぐにたんぼの中にズボズボと入って行きました。そして、車の車輪を持って押し上げました。

すると、今までそばで見ていた人たちが力を合わせて車を押ししたので荷車はまたく間に元どおりにになりました。

④馬方はたいそう喜んで藤樹先生の前に出て厚くお礼を言いました。先生は「いやいや、わたしひとりの力ではありません。お礼はみゆきさんに言いなさい。」と言って着物についた泥をはらうと、にっこり笑いかから立ち去りました。

* 記念館だより *

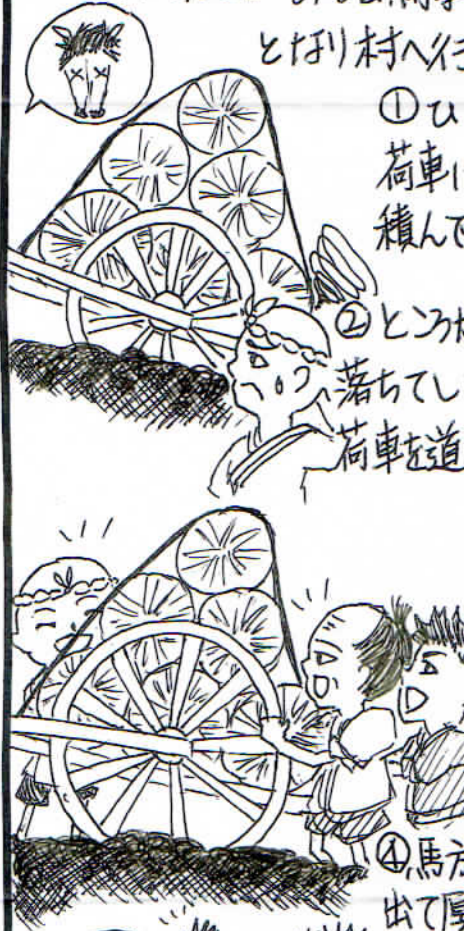
「論語」為政第二

著・津田瑞穂さん

義と見て
為さざるは
勇無きなり

「なすべき事を前にしながら行わないのは、勇気がないというものだ」という意味です。

乗り物の中で、らんぼうな者が四、五人いて、人に何かやっている時、その人が「気の毒」と思っても正義をうらめくことは、簡単ではありません。勇気がないことは、たしかばのですが……。



お知らせ

9月から
記念館に新しい
職員が赴任しました。
土肥 夕華です
よろしくお願
い致します。



9月25日(日) 藤樹先生の命日

(旧暦の8月25日) ということで

神社や書院で祭典が執りおこなわれます。
是非、お参りくださいませ。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

